

「かかりつけ医と腎臓専門医の連携って？」

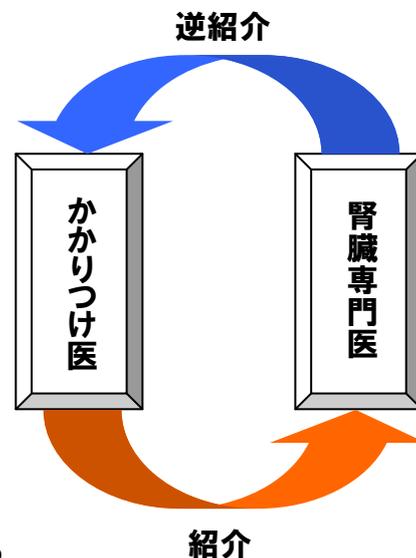
適切な治療を受けるには、かかりつけ医の定期的な受診が大切です。

病気の中には、治療をおこなえばほぼ病状が改善するものもあれば、そう簡単には完治しないものもあります。慢性腎臓病は、早期に発見し治療すれば、進行を抑えることが可能です。しかし、腎臓疾患は自覚症状が出にくいこともあり、気づいた時にはかなり進行している場合が多い病気です。

こんな時、かかりつけ医と腎臓専門医の「医療連携」という協力体制のもと、定期的にかかりつけ医を受診していれば、かかりつけ医がみなさんの症状を診て必要と判断した場合には腎臓専門医へ紹介されますので、みなさんは何も心配することなく適切な専門治療を受けることが出来ます。

そして、腎臓専門医で症状に応じた治療を受けた結果、症状が改善もしくは安定すると、またかかりつけ医の先生へ紹介されます。これを「逆紹介」といいます。

この地域医療連携の体制が確立されていれば、みなさんの様々な症状に合わせた適切な治療がおこなわれ、症状の進行抑制につながるのです。



月に1度の受診が、健康への第一歩です。

栄養ケア・ステーション”をご存じですか？



今回の研究では、全国で317名の管理栄養士が皆様の生活・食事指導を担当させていただいております。研究に関わる管理栄養士は、昨年、福岡と東京の2会場において研修を受講した本研究のスペシャリストです。(写真は福岡会場の様子です)

そして、皆様とかかりつけ医、管理栄養士の調整役を担っているのが、「栄養ケア・ステーション」です。「栄養ケア・ステーション」は、全国の管理栄養士や栄養士が地域や医療機関に対して栄養支援を行う拠点として、全国各都道府県栄養士会に設置をすすめております。皆様が手軽に立ち寄れて相談できる拠点となるよう、将来は

市町村に1拠点を目指しております。この「栄養ケア・ステーション」を皆様に覚えていただき、研究に関わらず、是非今後ご活用いただきたいと願っております。

次回からは、全国の栄養ケア・ステーションより、皆様に管理栄養士や地元の情報を発信させていただきます。どうぞお楽しみに・・・

FROM-J研究リーダー 筑波大学大学院人間総合科学研究科 山縣 邦弘

<お問い合わせ先>

FROM-Jデータセンター TEL:0120-15-2664(平日 9:00~17:30)

※参加ご辞退のお申し出と行き違いに本紙がお手元に届きました場合は、ご了承ください。